

2022年度 自己点検・評価チェックシート 学部・研究科名：商学部

※学部・研究科ごとに作成してください。

確認事項1 3つのポリシー		
(1) 3つのポリシーを教授会・運営委員会等で確認した	☒ 確認した	2022 年 6 月 会議名：学部運営委員会
	☐ 確認していない	年 月 確認予定
(2) 3つのポリシーは学生や社会に公表されている	☒ 公表されている	☒ 要項 ☒ HP ☐ パンフレット ☐ その他 ()
	☐ 公表されていない	公表予定時期：

確認事項2 学修成果		
(1) 学修成果を設定している	☐ 設定している	⇒(2)、(3)を記入
	☒ 設定していない	年 月 設定予定
(2) 学修成果の内容	☐ 各学部・研究科の DP と関連付けて設定している ☐ 複数の方法で根拠に基づいて測定することが可能である ☐ 知識、スキル、態度・志向性をバランスよく含んでいる ☐ 「学生は、～することができる」といった形式にするなどわかりやすい記述となっている	
(3) 学修成果を明示している	☐ 明示している	☐ 要項 ☐ HP ☐ パンフレット ☐ その他 ()
	☐ 明示していない	年 月 明示予定
◆明示している学修成果（昨年度報告している箇所もご記入ください。ホームページ等のリンクではなく、学修成果をご記入ください。） 以下の通り、学部運営委員会・カリキュラム委員会にてアセスメント・ポリシーの検討・設定を進めている。 2022 年 6 月 22 日 商学部運営委員会「3つのポリシーの件」 現行の3ポリシーについて確認するとともに、ディプロマ・ポリシーに関連付けた学修成果、ならびにアセスメント・ポリシーの策定を今後予定していることを説明した。		

確認事項 3 学修成果の測定方法の設定		
(1) アセスメント・ポリシーを設定している	☐ 設定している	⇒確認事項(2)、(3)を記入
	☒ 設定していない	2023 年 3 月 設定予定
(2) アセスメント・ポリシーの内容	☐ 学修成果と測定方法の関連性が明確になっている ☐ 学修成果を複数の方法（可能な限り「直接評価」と「間接評価」の組み合わせ）で測定する ☐ 測定時期を明確にしている ☐ どの水準をもって達成とするか学部・研究科内で合意している	
(3) アセスメント・ポリシーを明示している	☐ 明示している	☐ 要項 ☐ HP ☐ パンフレット ☐ その他（ ）
	☐ 明示していない	年 月 明示予定
◆明示しているアセスメント・ポリシー（別紙での提出も可）		

< 3つのポリシー・カリキュラム・入試制度の変更 >

※2021 年 10 月以降に変更を決定した項目があれば記載してください。本チェックシートの別項目で記載している場合は不要です。

項目	変更時期	変更内容	変更理由

※確認事項 3-1、3-2、3-3、3-4、3-5、3-6、3-7、3-8、3-9、3-10 は該当なし